

柔道初心者による受身・打ち込みコンテスト 要項

- 1 主催 宮城県中体連柔道専門部
- 2 目的 中学校より柔道を始めた生徒がより安全に柔道に取り組むことができるよう、柔道の基礎である「受身・打ち込み」の技能向上を図り、より安全・安心に柔道に取り組むことが出来る一助とする。
- 3 会期 令和7年11月8日(土)宮城県中学校柔道新人大会内にて実施
- 4 会場 「宮城県武道館」 〒982-0844 仙台市太白区根岸町15-1
- 5 参加資格 中学校より柔道を始めた1・2年生(県新人大会出場チームに限る)
※団体戦出場者以外からの参加も認める。(参加人数に制限はしない)
※男子(女子)団体戦のみの県新人大会出場であっても女子(男子)生徒の参加も可能とする
- 6 参加申込 県新人大会申込用紙に必要事項を記入し提出する。
- 7 内容 1年生の部、2年生の部として2部門を実施する。コンテストの内容は、
 - ① 受け身(後受け身・横受け身(左右)前受け身・前回り受け身(左右))
 - ② 打ち込み(得意な技で9本打ち込み、10本目で投げる×2)
※1年生の部は後受け身・横受け身を座位、前受け身を立ち膝から実施
※2年生の部は後受け身・横受け身をそんきよ、前受け身を立ち姿勢から実施
- 8 採点基準 受け身・・・以下の3つの基準を0～3点で採点する
 - ① 衝撃を緩和させているか(手と前腕全体を使って畳を叩き、衝撃を分散させることができているか)
 - ② 適切な姿勢(形)をとることができるか(頭部を守ることができるか。手足は位置な位置にあり、頭を打つ原因、怪我を防ぐことができる受け身をとることができるか)
 - ③ 滑らかな動きで投げられた際に使うことができる受け身であるか(落下や回転による受け身を取るができるか)打ち込み・・・以下の3つの基準を0～3点で採点する
 - ① 打ち込みの形や崩しができているか
 - ② 技に入るスピード、バランスが取れているか
 - ③ 実際に投げるができる打ち込みか審査は宮城県柔道連盟より派遣された審判員がおこなう
- 9 表彰 1年生、2年生の部共に上位3名を表彰する。(参加人数により、表彰人数が変更になる場合があります。)